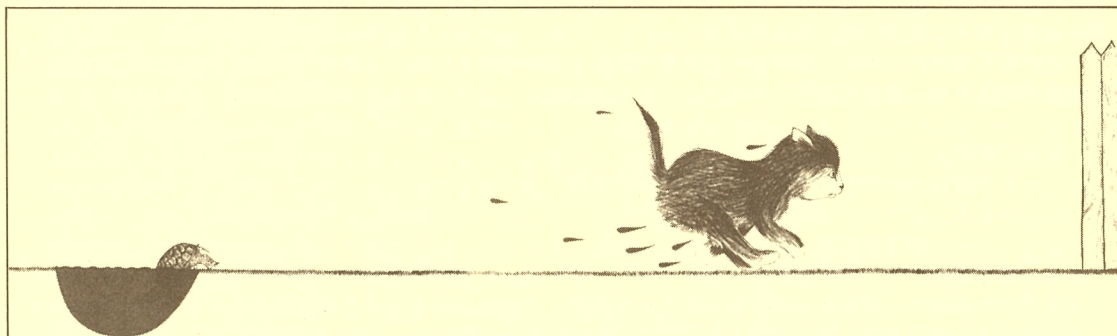


図書館たより

号 数 第 43 号
発行日 昭和54年 8 月15日
編集行 島根県立図書館
松江市内中原町52
T E L (0852) 22-5725
印刷 渡 部 印 刷



「いたずらねこ」より

— 旭図書センター巡回貸出の状況について —

旭町は旧村が合併してできた所であるため、町内が5地区に分散している。図書センターは町の中心地である役場庁舎の在る大字今市に建設された山村開発旭センターの二階に設けてある。年間諸種の会合でこの旭センターを訪れる人はかなりの数にのぼっているが、図書センターを利用している者は比較的少ないので、なんとか利用度を高めたいと努力はしているものの効果が挙がらないのが現状である。

そこで少しでも利用度を高めたいと考えついたのが、巡回貸し出しである。この貸し出しは月2回（原則として1日、15日）図書センターにある県立図書館から借用している本（昭和53年度は2000冊、54年度は2500冊）の中から約350冊位を選んで、ダンボール箱12～13箱に詰めて持ち出すのである。県立図書館と町所有の図書との割合は6と4で、そのうち幼児及び児童用は150冊位である。その箱を役場の車にのせるのであるが、図書センターが二階にあるため、持ち運びが大変である。ほんとうに何十冊という図書を詰めた箱位重たいものはないなあとその度毎に痛感している。

朝9時頃出発して第一の貸出場所である農協都川支所へ行き9時30分から10時20分まで、農協入口の

広場へ並べて貸し出しを開始する。当日は各地区行くごとに自動車の中からマイクで来たことを告げている。尚その2～3日前にも有線放送で町民に知らせ、さそい合わせて来てもらうよう呼びかけている。昨年10月から実施しているので今では各地区とも、

ある程度定着してきたのか、私たちが行く頃には人々が来て待っていてもらうこともあり、こんな時は仕事のやり甲斐があってうれしい。午前中2か所、午後3か所廻り、図書センターに帰着するのが午後4時頃、また図書を書架に整理して1日の仕事が終わる。

巡回には教育委員会から2名行き、返本の整理、貸出と業務を分担している。1日の貸出図書は多い時で190冊、平均して140～150冊である。将来は1か所の貸出時間を短縮して場所をふやし、遠隔地の人々に読書の便を図ってあげたいとも考えている。

県下読書施設の横顔(4)

— ユニークな活動を中心に —

図書センターの概要

設置場所 那賀郡旭町今市
担当者 佐々木和敬(社会教育主事)
佐々木和彦(講師)
蔵書冊数 2,868冊
図書購入費 40万円

(文責・佐々木和彦)

こどもの本 (2)

—読みきかせに適した本—

いたずらこねこ

バーナデイン・クック文 まさきるりこ訳

レミイ・チャーリップ絵

福音館書店 ￥ 500

見開きのページを舞台に、小さいいたずらねこと小さなかめが初めて出会うこっけいなパントマイム。好奇心にかられたこねこが、かめをぼんとたたくとかめの首や手足が消えるのにびっくり仰天。後半はかめに押されて、じりじり池の方へあとずさり……。

一本の線で描かれた地面、動かない池と柵の間を一進一退するこねことかめの様子は、好奇心の強い子どもの心を同化させ、思わず笑いをさそう。

りんごのき

エドアルド・ベチンカ文 うちだりさこ訳

ヘレナ・ズマトリーコバー絵

福音館書店 ￥ 450

小さい男の子マルチンの家の庭に一本のりんごの木がある。雪の中で棒切れのように見えた木が、季節のうつりかわりの中で、芽ぶき、花咲き、やがてマルチンのおやつになる実を实らせていく。家族といっしょに木のせわをしてきたマルチンの驚きと喜びが、読む者の心にもつたわってくる。ま四角で小型の見るからに愛らしいチェコの絵本。常に見開きの左に文、右に絵があり、そのどちらも枠で囲われているので、まるで窓から庭をながめているような楽しさがある。

ふんふんなんだかいにおい

にしまきかやこ文・絵

こぐま社 ￥ 800

さっちゃん、おいそぎで朝ごはんを食べました。なぜって……、これはないしょ。ところが、さっちゃんの口のまわりは、たまごのきみでくわんくわん。てのひらは、いちごジャムでべたべた。エプロンは、とりのスープでしみだらけです。そんなことは気にしないでさっちゃんは元気よく野原へとびだしたから大へんです。鼻をひくひくさせたきつねのこが、「ふんふんなんだかいにおい」とやってくるのです。くまのこも、おかみのこも……。

日常、よく見かける幼児の習性を題材にした、ユーモラスな話の展開がとても楽しい。

ひとまねこざる

エッチ・エイ・レイ 文・絵

光吉夏弥 訳

岩波書店 ￥ 320

アメリカのジャングルから黄色い帽子のおじさんにつれてこられたおさるのジョージは、大変な//知りたがりや//で無類のいたずらもの。ある日、動物園をそっとぬけ出して食堂へはいったり、ビルディングのガラス拭きになったりしてとんでもない事件をまきおこす……。

子どもが内心やってみたいと思っているようなことを苦もなくやってのけるジョージは、子どもの気持ちの代弁者としても親しまれる。続編五冊「じてんしゃにのるひとまねこざる」「ろけつとこざる」「たこをあげるひとまねこざる」「ひとまねこざるときいろいろいぼうし」「ひとまねこざるびょういんへいく」

つきのぼうや

イブ・スパンク・オルセン 文・絵

やまのうちきよこ訳

福音館書店 ￥ 580

縦35cm、横13cmの細長い絵本。

ある晩、下界の池の中にもうひとつの月をみつけたお月さまは、月のぼうやにつれてきてくれと頼む。ぼうやは、空からどんどん落下し、ついには海の底にまで月を探しにきてしまう。そして、すばらしい月をみつけて又、空へ昇って行くが……。

細長い型を、各場面ごとにうまく使い、とくに空から降りてくる場面のレイアウトは面白い。ブルーを基調に黄の月が美しい色の組合せとなっている。

郷土資料室の窓

郷土質問コーナー②

問：大根島の薬用人参について知りたい。

答：中海に浮かぶ大根島は、正式に八東郡八東町といますが、一般的に大根島と呼ばれています。この島で産する薬用人参は、県内唯一の生産品であり、長野県・福島県と共に全国三大生産地といわれています。

薬用人参は俗に朝鮮人参ともいわれ、万病に効く薬として貴重なものです。江戸期にはこの薬を得るため、庶民が大金をはたかねばならなかったことはよく知られています。松江藩は今から200年以前の宝暦年間に、現在の松江市東津田の地で人参栽培に着手しました。これは財政を補う事業として藩経営で、極秘の中で生産されました。幕末の松江藩は多額の出費を、この人参栽培事業でまかなったともいわれます。大根島で、薬用人参が栽培されたのは、天保の初め頃でした。当時は御手畑という、藩庁直轄畑で、数名の御手人によって極秘で栽培・製造されて、一般人の畑への出入も禁じられていました。御手人も厳重な身元調査がありました。しかし、一般農民も願いによって種子が下附され、栽培ができましたが、増減は禁じられていました。これを百姓畑といいます。維新後、人参栽培・製造は解禁され、明治時代大根島の薬用人参の名は全国的になりました。大正時代、一時養蚕におされ、減少しましたが、昭和に入り再び生産量が高まり現在に至っています。薬用人参は、五加科に属する多年草で、直射日光に弱く、また土質・気候など環境に鋭敏な植物です。そのため自然条件はもとより、栽培管理に大きく影響されます。育苗期間1年で翌年の春移植し、収穫は定植後5年目の9月中旬より10月中旬に掘りとりします。形ができあがり、収穫するのに6年をまたねばなりません。現在、島での生産状況は次のようです。

年次	栽培戸数	栽培面積	生産高(加工品)
46	390戸	78ha	11.4トン
47	400	83	19.0
48	400	83	17.1

近年は輸出品として外貨獲得の農産物となっています。

参考資料として次のようなものがあります。

『農事試験場特別報告8号』(出雲国人参栽培製造法) 農商務省農事試験場編刊 明33

『島根県旧藩美蹟』 島根県内務部編刊 明41

『小村家史稿一松江藩人参畑添元記録一』 昭33

『日本人参史』(出雲人参) 日本人参史編集委員会編 日本人参販売農業協同組合刊 昭43

『八東町勢要覧』 八東町役場編刊 昭47

『八東の薬用人参』 八東町役場編刊 昭48

問：私の家の先祖を調べたい。

答：先祖調べをするのに、家伝の過去帳・墓石・銘文・系図・由緒書等があれば比較的容易に知ることができます。過去帳等はまちがった記載はめったにありませんが、系図類はまま荒唐無稽な記述があることに注意しなければなりません。この他に文書や伝承などがあれば、それを手がかりにして貴方の家が士族であったか、庶民であったかなどを知ることができます。士族であれば、松江藩の場合は『松江藩列士録』をみます。この資料の記載は士と新番組以上で、徒以下はありません。浜田藩には『明細分限帳』があります。その他、各藩・各時代の給帳に記載されている場合もあります。一般的に先祖調べで家伝の資料がない場合はむずかしいのですが、下記の資料で姓の出自がわかります。それがすぐ貴方の家の先祖とはいえませんが、姓氏の概略がわかるものです。

『姓氏家系大辞典』 太田亮著・角川書店 昭38

『苗字の歴史』 豊田武著 中史公論社

『石見家系録』 大島幾太郎著 大7

『石見諸家系図録』 岡本庄司著 島根県郷土史会 昭43

『(松江) 市内墓志らべ』 藤井準一郎著刊 昭14

ニ ュ ー ス

～県内の5市町村、BM巡回で活躍!!～

各市町村では、各種の読書普及活動が独自にすすめられている。自動車に図書を載せて住民に貸出サービスをおこなう巡回活動もその一つである。

住民の最も身近なところまで図書を運ぶこの活動は、人手不足等の困難な点も多いが普及活動の原点であり実施するに値する事業である。下記5市町の今後の活躍を期待したい。

調査項目 実施団体	1. 開始 年月日	2. 車 輛 (所 属)	3. 駐 車 場	4. 巡回周期 駐車時間	5. 乗 員	6. 広 報 手 段	8. 積 載 冊 数	9. 利 用 統 計	10. 図 書 購 入 予 算
江津市立図書館	49年10月	トヨタ キャブスター 1500ccパン (出納室)	4 小学校 3 公民館 (一括配本)	月1回 2.5時間	司書2名 役場運転手	有線放送 市広報	350冊 400冊	53年度 6,924冊 うちリクエスト101冊	200万円
多伎町教育委員会	53年5月	トヨタ カローラ 1400ccパン (教育委員会)	4 地区	月2回 40分	社教主事 社教指導員	有線放送 町広報 車のスピーカー 電	500冊	53.5～54.3 2,402冊	10万円
旭町教育委員会 (図書センター)	53年10月	日産 ブルーバード 1600ccパン (出納室)	4 地区	月2回 1時間	社教主事 社教指導員	有線放送 町広報 車のスピーカー 図書目録を駅の 待合室、官公署 へ配布	350冊	53.10～ 54.3 1,801冊	40万円
温泉津町教育委員会	54年 6月2日	トヨタ カローラ 1200ccパン (教育委員会)	4 地区	月2回 1時間	社教主事 主 事	有線放送 町広報	200冊	54.8.7まで に4回実施 38人に対し 78冊	3万円
伯太町教育委員会	54年 6月20日	トヨタ クラウン 2000ccパン (住民課)	4 地区	月1回 2時間	社教主事 社教指導員 アルバイト	有線放送 町広報 車のスピーカー 町内会回覧	500冊	54.7.8まで に2回実施 140人に対 し280冊	20万円 他に貸金 等10万円

読書会紹介 No 6

読書会名 読書会「月灯」

所在地 大原郡大東町 大東町立図書館

住所 大原郡大東町大字清田

代表者・氏名 恩田 磯子

会 員 数 15名

定例日・時 毎月第4月曜日 20:00～22:00

世の中が忙しくなり、その上テレビが茶の間にドカッと腰をおろすようになった昨今、一日の内わずかな時間でもそれらの雑事や誘惑から逃れて本に親しむことは、自分自身の生活のうるおいと豊かな心を養う最良の策と考え、図書館をよく利用する本好きな人々に呼びかけ昨年3月読書会を結成しました。

会の名称は読書会「月灯」月曜日の夜8時から図書館の灯のもと相集い話し合うところから月灯と名付けました。会員は殆んどが40才台の主婦、その他に前図書館職員の男子2名を仲間として迎え助言をいただいたり、男の立場から違った見方や体験を話して頂いております。

本は主として県立図書館におんぶしており、時折各自で文庫本を購入して読んでいます。読み易い現代小説にのみ片寄らぬように本の選定をしております。希望の本が借りられず残念ですが、別の意味で仕方なしに内容的に読みにくい本、興味のない本、初めての作者の本もと、自然に色々な傾向を読むことになり、これも又よき事と思っています。身近かな生活の問題や歴史的背景を考えながら、読書を通じて集団の中で自分の考えをはっきり表現し、又話し合いの中から自分の及びもつかない点や別の受け入れ方を知ることとは、本当にすばらしい事だと思います。本によっては時のたつのも忘れるほど話がはずむ時や、反対に年令が同じ位のせいかとてもその考えについていけず、話し合いがうまく運ばない事もあります。拒絶反応を示す一方で、そういう見方、考え方もあるのかと、悟る事も一つの勉強だと思っています。時にはバス旅行したり、夕食会を開いたりして会員相互の親睦をはかり、心のふれ合いを大切にして気負わずに楽しめる集まりになるようにと、お互いに励まし合っております。

(文責・恩田磯子)